

【記入例】 令和3年度 国民健康保険料減免申請書

(新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少用)

申請期限は令和4年(2022年)3月31日です。

熊本市長あて

令和3年6月9日

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、国民健康保険料の納付が困難であるため、国民健康保険料の減免について、以下のとおり申請します。

世帯主氏名	フリガナ ヒゴ タロウ	受付No.	
	肥後 太郎	記号番号	1234 — 5678
世帯主住所	熊本市 中央 区 手取本町1-1		
申請者氏名	<input type="checkbox"/> 世帯主と同じ(記入不要)	世帯主との続柄	自宅 096 — 328 — 2290
	肥後 花子	妻	携帯 0●0 — 1234 — 5678

申請理由 ※該当するものに☑

新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負ったため。
 新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者が事業を廃止又は失業したため。
 新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の事業収入等が減少したため。

主たる生計維持者氏名	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯主と同じ(記入不要)	世帯主との続柄	
------------	--	---------	--

【10分の3以上減少が見込まれる収入の種類】 ※該当するものに☑

給与収入 事業収入 不動産収入 山林収入

【収入が(2021)年(4)月から減少することになった経緯】

(例①)
飲食店でアルバイトをしているが、新型コロナウイルス感染症の影響で3月から店が営業を休止した。6月から店が営業を再開したが、来客数はまだ元のように戻っていないため、シフトも以前より減っている状況である。

(例②)
昨年まで勤めていた会社を退職した。次の就職先を探していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で雇用先が見つからず、収入が無い状況である。

(例③)
飲食店を経営していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて3月から来客が減り、4月の緊急事態宣言期間中は店を閉めた。緊急事態宣言が解除となった今も、来客数は普段より少なくなっている。

(例④)
イベント関係の仕事をしているが、新型コロナウイルス感染症の影響で3月からイベントの中止が続き収入が減少しており、年内の開催予定だったイベントは全て中止となった。新たに他の仕事を探しているが、いまだ見つからない状況である。

(例⑤)
店舗を貸していた事業所が4月に新型コロナウイルス感染症の影響により廃業となり、新たな借り手もつかず、それ以降の家賃収入の見込みがなくなった。

(例⑥)
フリーイラストレーターとして生計を立てているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で客先からの発注が激減した。新規の客先と業務契約をしたものの、収入は安定していない状況である。

審査日	減免可否	減免割合
令和 年 月 日	可・否	割